

# 令和6年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査に係る留意事項

## I 出願書類について

※封筒に校種等及び職種、出願教科等を朱書きすること。

書類名	項目	留意事項																																																																																																																		
志願書	校種等及び職種	・「小学校教諭」、「中学校教諭」、「高等学校教諭」、「特別支援学校教諭(小学部)」、「特別支援学校教諭(中・高等部)」、「小・中・高・特支養護教諭」、「小・中学校栄養教諭」のように記入すること。																																																																																																																		
	出願教科等	・高等学校教諭の「理科」、「工業」に出願する者は、「理科(物理)」、「工業(機械)」のように記入すること。 ・特別支援学校教諭(中・高等部)に出願する者は、中学校教諭、高等学校教諭の教科等に準じ、「中学部(国語)」、「高等部(国語)」のように記入すること。																																																																																																																		
	加点申請	・加点申請をする者で、出願する時点で当該資格を取得済みの者は○、取得見込の者(出願期間以後に資格や免許状を取得する予定で、令和6年3月29日(金)までにその原本を提示できる者)は△をつけ、当該資格名を記入すること。取得見込の場合は、大学又は大学院の免許状取得見込証明書の提出が必須。 (注)司書教諭の資格取得を証明する書類は、次の(1),(2)のいずれかとする。 (1)文部科学省が交付した「司書教諭講習修了証書」 (2)「司書教諭講習修了証書」申請(見込)証明書(別紙様式に大学等が証明したもの)																																																																																																																		
	特別支援学校出願領域	・3つの領域(視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域)並びに「医療的ケア(自立活動)」のうち、いずれか希望するものを○で囲むこと。(特別支援学校出願者のみ記入)																																																																																																																		
	コード番号	<table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>10</td> <td rowspan="13">高等学校</td> <td>地学</td> <td>37</td> <td rowspan="6">特別支援学校</td> <td>視覚・小</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">中学校</td> <td>国語</td> <td>20</td> <td>保健体育</td> <td>38</td> <td>視覚・中高</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>21</td> <td>音楽</td> <td>39</td> <td>聴覚・小</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>22</td> <td>美術</td> <td>40</td> <td>聴覚・中高</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>23</td> <td>書道</td> <td>41</td> <td>知肢病・小</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>24</td> <td>英語</td> <td>42</td> <td>知肢病・中高</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>美術</td> <td>25</td> <td>家庭</td> <td>43</td> <td>医療的ケア(自立活動)</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td>26</td> <td>情報</td> <td>44</td> <td>養護教諭(小・中)</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>技術</td> <td>27</td> <td>農業</td> <td>45</td> <td>養護教諭(高・特支)</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>28</td> <td>機械</td> <td>46</td> <td>栄養教諭(小・中)</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>29</td> <td>電気</td> <td>47</td> <td>身体に障がいのある者を対象とした選考</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">高等学校</td> <td>国語</td> <td>30</td> <td>建築</td> <td>48</td> <td colspan="2">中学校教諭「英語」の小学校教諭の併願希望の場合はコードに29を記入し、小学校の併願欄に○を記入する。</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>31</td> <td>土木</td> <td>49</td> <td colspan="2">高等教諭「情報」以外の受審者で高等学校「情報」の併願希望の場合はコードに高等学校教諭の「情報」以外の番号を記入し、「情報」の併願欄に○を記入する。</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>32</td> <td>工業デザイン</td> <td>50</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>33</td> <td>工業化学</td> <td>51</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>物理</td> <td>34</td> <td>商業</td> <td>52</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学</td> <td>35</td> <td>看護</td> <td>53</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>生物</td> <td>36</td> <td>福祉</td> <td>54</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	小学校	10	高等学校	地学	37	特別支援学校	視覚・小	60	中学校	国語	20	保健体育	38	視覚・中高	61	社会	21	音楽	39	聴覚・小	62	数学	22	美術	40	聴覚・中高	63	理科	23	書道	41	知肢病・小	64	音楽	24	英語	42	知肢病・中高	65	美術	25	家庭	43	医療的ケア(自立活動)	66	保健体育	26	情報	44	養護教諭(小・中)	70	技術	27	農業	45	養護教諭(高・特支)	71	家庭	28	機械	46	栄養教諭(小・中)	80	英語	29	電気	47	身体に障がいのある者を対象とした選考	90	高等学校	国語	30	建築	48	中学校教諭「英語」の小学校教諭の併願希望の場合はコードに29を記入し、小学校の併願欄に○を記入する。		地理歴史	31	土木	49	高等教諭「情報」以外の受審者で高等学校「情報」の併願希望の場合はコードに高等学校教諭の「情報」以外の番号を記入し、「情報」の併願欄に○を記入する。		公民	32	工業デザイン	50			数学	33	工業化学	51			物理	34	商業	52				化学	35	看護	53				生物	36	福祉	54		
	小学校	10	高等学校	地学		37	特別支援学校		視覚・小	60																																																																																																										
	中学校	国語		20		保健体育			38	視覚・中高		61																																																																																																								
		社会		21		音楽			39	聴覚・小		62																																																																																																								
		数学		22		美術			40	聴覚・中高		63																																																																																																								
		理科		23		書道			41	知肢病・小		64																																																																																																								
音楽		24		英語		42		知肢病・中高	65																																																																																																											
美術		25		家庭		43	医療的ケア(自立活動)	66																																																																																																												
保健体育		26		情報		44	養護教諭(小・中)	70																																																																																																												
技術		27		農業		45	養護教諭(高・特支)	71																																																																																																												
家庭		28		機械		46	栄養教諭(小・中)	80																																																																																																												
英語	29	電気		47		身体に障がいのある者を対象とした選考	90																																																																																																													
高等学校	国語	30		建築		48	中学校教諭「英語」の小学校教諭の併願希望の場合はコードに29を記入し、小学校の併願欄に○を記入する。																																																																																																													
	地理歴史	31		土木	49	高等教諭「情報」以外の受審者で高等学校「情報」の併願希望の場合はコードに高等学校教諭の「情報」以外の番号を記入し、「情報」の併願欄に○を記入する。																																																																																																														
	公民	32	工業デザイン	50																																																																																																																
	数学	33	工業化学	51																																																																																																																
	物理	34	商業	52																																																																																																																
	化学	35	看護	53																																																																																																																
	生物	36	福祉	54																																																																																																																
受審区分養護教諭	・受審する校種を選択すること。(小・中・高・特支養護教諭受審者のみ記入)																																																																																																																			
出願資格・併願	・中学校教諭「英語」又は高等学校教諭「英語」の受審者 …CEFR B2相当かB1相当のいずれかの有資格欄に○を記入すること。 ・中学校教諭「英語」受審者の小学校教諭の併願 …「小学校の併願」の欄に○を記入すること。 ・高等学校教諭「情報」以外の受審者の高等学校教諭「情報」併願 …「情報の併願」の欄に○を記入すること。																																																																																																																			
育児休業及び配偶者同行休業の代替に係る任期付教員採用候補者選考審査の受審希望については、教職員課ホームページでこの制度の主旨等を確認し、希望する場合は、該当欄に○を記入すること。(令和4・5年度において名簿登載された者も「希望」欄に○を記入すること。)																																																																																																																				
選考区分等	・一般選考受審者…「一般選考」の欄に○を記入すること。 ・特別選考受審者…審査要綱の2(2)①～⑦の区分に応じ、「特別選考」の該当する欄に、○を記入すること。ただし、①及び③については、ア又はイと記入すること。②及び⑦については、ア、イ又はウと記入すること。 ・採用候補者名簿(B)に登載された者を対象とした選考の受審者 …「採用候補者(B)選考」欄に○を記入すること。 ・身体に障がいのある者を対象とした選考の受審者 …「校種等及び職種」「出願教科等」の欄に希望する校種・教科等を記入するとともに「身体障がい者選考」欄に○を記入すること。																																																																																																																			
東京試験会場受審希望	・「1次審査(7月15日)」…東京試験会場で1次審査(筆記審査)受審希望の者は、○を記入すること。 ・「2次審査(7月16日)」…特別選考②ア、又はウの受審者で東京試験会場で受審希望の者は、○を記入すること。																																																																																																																			

書類名	項目	留意事項
志願書 ※ 受審票や整理票についても同様に記載すること	年齢	・令和6年4月1日現在の年齢を記入すること。
	写真	・大きさは縦4cm、横3cm。 <u>裏面に氏名を記入すること。</u> ・スナップ写真は不可。
	国籍	・日本国籍か外国籍かのどちらかに○を記入すること。
	現住所以外の連絡先	・現住所以外の連絡先があれば記入すること。 電話番号は、携帯・自宅・呼出の別を○印で示し、市外局番から記入すること。 例 (088) 123-XXXX
	学歴	・大学院の「学部・学科・課程」の欄は、学部・学科・課程の名称を記入し、あてはまるものに○をつけること。
	教員免許状	・種類・教科等は、小一、中二(国)、高専(栄)、養教一、栄教一のように記入すること。 ・特別支援学校の場合には、特支一(知・肢)のように領域を記入すること。 ・通信教育で取得見込の者は、種類を○で囲むこと。(例) <u>小一</u> ・取得見込の場合は、元号の前に(見)と記入すること。(例) (見)令和6年3月
	履歴事項	・学歴は、高等学校から記入すること。 ・通信教育部への編入及び修了についても記入すること。 ・職歴は、日付順に期間及び職名を正確に記入すること。 ・空白の期間がある場合は最後の行に「空白の期間はすべて在家」と記入すること。
	賞罰	・賞罰がある場合は年月日と内容を具体的に記入、ない場合は「なし」と記入すること。 ・賞のみの場合は、内容を記入した後、「罰はなし」と記入すること。(逆の場合も同様)
	志願理由	・出願する校種・教科等を踏まえて動機や理由等を具体的に記入すること。
	資格・海外生活経験等	・加點申請をする者は、必ず当該資格名及び得点や級を記入すること。 ・スポーツの段位、公認審判員等、取得済みの資格があれば記入すること。 ・海外生活経験等、特記する経歴がある場合は記入すること。
	特入賞記録	・学校教育に生かすことができる特技を記入すること。 ・各種競技会の参加記録、入賞記録(高校時代以降の全国大会以上の大会名と成績)を記入すること。
	部活動	・同好会的なものを除き、それぞれの校種で継続して活動していたものを記入すること。
	自主的な活動 ボランティア活動等	・自主的な活動やボランティア活動のうち、顕著なものを記入すること。
受審票	あて先	・受審票の表に郵便番号、住所、氏名を正確に記入し、63円切手を貼付すること。
	写真	・受審票の写真(縦4cm、横3cm)は、 <u>出願時には貼らないこと。出願後、受審票を受け取ってから貼ること。裏面に氏名を記入すること。</u>
	割印	・受審票と志願書の割印と書かれた欄には押印しないこと。
	その他	・様式をダウンロードして使用する場合は、ケント紙に印刷すること。 ・受審票の大きさ(縦14.8cm、横10cm)や重さ(2g~6g)に注意すること。 ・受審票の返送をもって出願書類の受理通知に代える。(7月上旬発送予定)
整理票	・特別選考①、②、③、④、⑤、⑥、身体に障がいのある者を対象とした選考の受審者は、該当の欄にそれぞれ必要事項を記入すること。 ・特別選考②の期間の欄については、通算の期間及び実勤務年数を記入すること。 ・特別選考③受審者は実績欄にア又はイに該当する事項も記入すること。 ・いずれの欄も、不足の場合は裏面に記載すること。	

注1 志願書、受審票、整理票の記入事項が一致していること。

注2 志願書、受審票、整理票の※印の欄は記入しないこと。

## II 特別選考④ 臨時教員に係る特別選考について

- ・「臨時教員等」とは、本県の小・中・高等学校・特別支援学校の教員免許状を有することが任用条件である職種において、臨時教員等として勤務していた者とする。なお、本県の高等学校・特別支援学校の実習助手、寄宿舎指導員、舎監、小・中学校栄養職員(臨時補助員)を含む。
- ・勤務形態は、常勤、非常勤を問わない。
- ・過去4年間とは、令和元年度から令和4年度までとする。
- ・臨時教員の在職月数は、任用期間に基づく。任用期間が月に1日以上あれば1月とみなす。ただし、同じ月に複数の学校に勤務した場合は、校数に関係なく1月とみなす。

### Ⅲ 実技審査について

次の要領で実技審査を実施する。審査に支障のある者は事前に申し出ること。

#### 1 小学校教諭関係

##### 【英語実技】

課題：単元「憧れの人を紹介しよう！」導入場面で自分の憧れの人について紹介する。

- ・ 話をする相手は、小学校5年生児童とする。
- ・ 時間は1分間程度とする。
- ・ 紹介後に英語での質問に答える。
- ・ 原稿、教具等は持ち込まない。

#### 2 中学校教諭〈保健体育・音楽・美術〉、高等学校教諭〈保健体育・音楽・美術・書道〉の実技審査（第1次審査）

##### (1) 体育実技（「保健体育」受審者）

###### ①種目：陸上競技

「ハードル」、「走り高跳び」の2種目から、当日、1種目を指定し審査する。

###### ②種目：球技

「サッカー」、「バレーボール」の2種目から、当日、1種目を指定し審査する。

###### ③種目：武道・ダンス

「柔道及びダンス」または「剣道及びダンス」を、当日、受審者が選択し審査する。

※体育実技の時の服装は運動着(トレーニングシャツ及びトレーニングパンツ)とする。体育館用運動靴を持参すること。トレーニングシャツには、25cm×20cmの白布に油性のマジックで受審番号を下の例のように書き、縫いつけること。体育実技審査会場には更衣室はありません。運動着(トレーニングシャツ及びトレーニングパンツ)を着用して来場すること。

(例)

中003
------

(中・高の記載の後、受審番号の下3桁のみ記入)

##### (2) 音楽実技（「音楽」受審者）

弾き歌い、アルトリコーダー初見演奏、自由曲（歌唱または器楽）の演奏について審査する。

- ①弾き歌いについては「花」、「浜辺の歌」、「赤とんぼ」、「夏の思い出」の中から1曲選び、ピアノ伴奏をしながら歌う。
  - ・ 伴奏譜については指定しない。（各自で用意する）
  - ・ 教科書通りの調とする。（調を変えない）
  - ・ 前奏ありで1番のみを歌う。

- ②自由曲演奏については伴奏なしの独唱、独奏とする。

※弾き歌いの伴奏譜、アルトリコーダー、自由曲演奏に必要なもの(歌唱：楽譜 器楽：楽器、楽譜等)、筆記用具を準備すること。なお、ピアノ、譜面台は県教委が準備する。

##### (3) 美術実技（「美術」受審者）

実技の内容は、当日指定し審査する。

※画用鉛筆、ポスターカラー、水彩絵の具等の描画用具（筆洗を含む）、はさみ、カッターナイフ、定規（30cm程度）を準備すること。その他必要なものは県教委が準備する。

##### (4) 書道実技（「書道」受審者）

「漢字仮名交じりの書」、「漢字の書」、「仮名の書」の3分野について審査する。

※書道用具一式（大筆、小筆、墨（墨汁）、硯、練習用紙、文鎮等）を準備すること。

なお、下敷は県教委が準備する。また、服装は漢字が入っていない審査に適したものとする  
こと。

### Ⅳ 小学校教諭の模擬授業（第2次審査）について

小学校教諭の模擬授業については、「算数」で実施する。